



内科・消化器内科

総合内科専門医・消化器病専門医
消化器内視鏡専門医・ピロリ菌感染症認定医

通常は8ページ構成ですが、今月号は6ページです。ご了承ください。

聖地巡礼～精霊流し

今年は昭和100年、戦後80年です。広島原爆の日(8月6日)、長崎原爆の日(9月9日)、終戦記念日(9月15日)に休診させていただきました。6日は長崎で行われる「夏長崎から」という野外コンサートに行く予定でしたが、暑さと頸の加減で断念しました。(後日TV放送がありました)

15日は、何十年も前から行きたかった、長崎の精霊流しに行ってきました。精霊流しは、初盆に提灯などで飾られた「精霊船」に故人の霊を乗せて、街中を練り歩きます。元々は海に流していましたが、現在では「流し場」まで運んで解体するそうです。花火と爆竹の音で賑やかなお盆です。

(下右)長崎大学第2内科も毎年「船」を出しているそうです。

1974年に男2人組の「グレープ」が「精霊流し」という曲を出しました。その1人がさだまさしさんで私は大ファンです。私にとって長崎へ行くことは聖地巡礼のようなものです。

聖地巡礼とは、元々はイスラム教徒がメッカへ巡礼するように、宗教的なものですが、最近ではアニメなどの舞台をファンが訪れることもこう呼びます。

何年前に流行った「すずめの戸締まり」というアニメ映画で、私の故郷の愛媛県八幡浜市のフェリーターミナルや駅に主人公のすずめが立ち寄っていて、巡礼さんも少し来たそうです。



休診の予定

10/15(水)～11/1(土)

今月号の原稿締め切りは、8/27でした。最新情報は、ホームページ・きくメールで、ご確認ください。ホームページ：<http://www.kikuchi-clinic.com/>
メールマガジン「きくメール」(無料)の登録はこちらです。

<https://www.mag2.com/m/0000239603/> (右のQRコードで登録できます)
Instagram: hiroshi_kikuchi1 (主に、城巡りや旅の投稿です)



救急安心センターおおさか

#7119 (または06-6582-7119)
年中無休24時間対応の救急医療相談窓口です。
看護師・医師などが相談に応じます。

八尾市休日急病診療所

(八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL072-993-8223)
日曜日・祝日のみ ①午前10:00～11:30
②午後1:00～3:30 ③午後5:00～8:30

たいじょうほうしん
带状疱疹(ヘルペス)の予防接種 (完全予約制)

子どもの頃に感染した水痘(水ぼうそう)のウイルスが体内に潜んでいて、高齢になって免疫が低下すると带状疱疹を発症します。

ワクチン接種は、**発病予防および発病した場合の症状・後遺症(神経痛)の軽減が目的**です。

接種対象は50歳以上です。

当院では右表にある2種類のワクチン接種を行っています。

情報は下記をご覧ください。

商品名 (製薬会社)	水痘生ワクチン (ビケン)	シングリックス (グラクソスミスクライン)
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種方法・回数	皮下注射 1回	筋肉注射 2回 (2~6か月間隔)
予防効果	約50%	約90%
効果持続期間	約5年	約10年

「**带状疱疹.jp**」(ビケン) <https://taijyouhoushin.jp/>

「**带状疱疹予防.jp**」(グラクソスミスクライン) <https://taijyouhoushin-yobou.jp/>

2025(令和7)年度から、上記2種類のワクチンが定期接種(公費助成)になりました。(対象者には八尾市からハガキが届いたはずです)

1. 接種期間: 年度実施(4月1日~翌年3月31日)

※シングリックスの場合は、2回目も同年度内に接種する必要があります。

2. 接種対象者: 接種当日に八尾市に住民登録のある下記①~③の方。過去に带状疱疹にかかったことのある方も対象です。ただし、**過去に任意接種で接種を受けた方は対象外**です。

①年度内に65歳を迎える方(誕生日の前でも接種できます)

②60~64歳で「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害」があり、日常生活がほとんど不可能な方(身体障害者手帳1級相当)

③令和7年度から令和11年度までの経過措置として、その年度内に、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方。101歳以上は令和7年度のみ対象。

3. 自己負担額(下表) ※不活化ワクチン(シングリックス)は2回の接種が必要です。

定期接種の接種料金(1回分)	
生ワクチン	不活化ワクチン
4,400円	11,000円

①次の方は接種費用が免除されます。市民税非課税世帯の方、生活保護受給者、中国残留邦人等支援法の受給者。

②手続: 事前に保健センター窓口・郵送・電子申請により交付された予診票により接種した場合に無料となります。

(接種後の返金はできません)

定期接種の対象外の方の接種料金(税込)(1回分)		
生ワクチン	ワクチン種類	不活化ワクチン
7,700円	かかりつけ患者さん	20,900円
8,800円	かかりつけでない方	22,000円

定期接種の対象外の方の接種料金は左表の通りです。(かかりつけに該当するかどうかはお問い合わせください)

「**带状疱疹ワクチンの接種が、認知症の発症を抑制する可能性**」が報告されています。

イギリスでの調査で、带状疱疹ワクチンを接種した人は、接種しなかった人と比べて、認知症と診断された率が約20%低かったそうです。(イギリスの科学雑誌「ネイチャー」に掲載)

また、オーストラリアでも同様の報告がありました。(アメリカの医学界雑誌「JAMA」に掲載)。带状疱疹の発病によって、脳の血管や神経が炎症を起こし、そのためにアルツハイマー病の原因とされるアミロイドの沈着が起こるのではないかと推測されています。

肺炎球菌の予防接種（予約制）

日本人の死亡原因の第4位が肺炎です。高齢者では肺炎球菌が原因の多くを占めます。

肺炎球菌ワクチンは**1回目の接種のみ2000円の自己負担**で受けることができます。

対象者は**65歳のみ**です。接種期間は、65歳の誕生日の前日から66歳の誕生日の前日までです。市民税非課税世帯の方、生活保護受給者等は負担金が免除されますが、接種前に八尾市保健センター（TEL 994-8480）で手続きをしてください。接種後の返金はできません。

ワクチンの効果は5年間です。2回目以降および定期接種の対象外の方の接種料金は下表の通りです。

2回目以降・対象外の方の接種料金	
かかりつけ患者さん	6,820円
かかりつけでない方	7,920円

情報は
肺炎予防.jp

<https://www.haien-yobou.jp/> でご覧ください。

例外の方の接種料金

八尾市公害認定患者さん	無料
ひそろ 脾臓摘出後の方 (胃がん術後等)	保険適用 (2回目以降も)

子宮頸がんワクチン接種（予約制）

子宮頸がんは、VPD（Vaccine Preventable Diseases：ワクチンによって予防できる病気）のひとつです。ぜひ接種をお受けください。

定期接種（無料）の対象者は、小学6年生から高校1年生（相当）の女子です。

当院では効果の高い9価ワクチン（シルガード9）の接種を行っています。

14歳までに接種開始した場合は、2回接種が標準です。

1回目接種 → 6か月あけて2回目接種（5か月目から12か月後まで接種可）

15歳以上で接種開始した場合は、3回接種が標準です。

1回目接種 → 2か月あけて2回目接種 → 1回目から6か月あけて3回目接種

※2回目は、1回目から1か月あければ接種可。3回目は2回目から3か月以上あければ接種可。

※1回目の接種を受けて安心したのか、2回目以降の接種を忘れる方がおられます。1年以内に3回受けないと十分な効果は得られませんし、有料になりますのでご確認ください。

風しんの予防接種「先天性風しん症候群予防対策事業」（予約制）

妊娠初期に感染した場合、新生児に先天性白内障、先天性心疾患、難聴などが起こる可能性が高くなります。対象者は、八尾市に住民票のある方で、**①妊娠を希望している女性 ②①の配偶者 ③妊婦の配偶者 ④①の同居者 ⑤妊婦の同居者**です。無料の抗体検査を行い、その結果で接種対象となれば、無料で接種可能です。

（妊娠中の方は、接種ができません）

対象外の方の接種料金	9,350円
------------	--------

RSウイルスワクチンについて

通常は「風邪」のような症状ですが、高齢者、呼吸器疾患・心疾患等をお持ちの方は、肺炎を起こすこともあります。日本の成人では、RSウイルス感染症によって1年間に63,000人の入院と4,500人が死亡していると推定されています。

60歳以上（特に感染リスクが高い方は50歳以上）を対象に、ワクチン（製品名アレックスビー）の接種が可能です。

接種料金は25,000円（税込）です。1回の接種で3年間は免疫が維持できます。

特定健診(予約制)

対象は40歳以上です。後期高齢者と八尾市国保の加入者は無料ですが、他の保険の方は、検査項目が少ない(心電図がない、貧血検査がない等)場合や、一部負担金がかかる場合がありますので、受診券でご確認ください。

特定健診の内容は、以下の通りです。

1. 問診
2. 身体計測(身長、体重、腹囲)
3. 検尿(糖・たん白)
4. 心電図
5. 採血(貧血、肝機能、腎機能、脂質、糖尿病など)

特定健診は「メタボリックシンドローム」の判定を目的としていて、血液検査は最低限の項目に限られています。「がん」の早期発見を目的とした、検査費用の高い人間ドックなどとは比べようがありません。

特定健診に含まれない検査(胸部X線写真・骨密度測定・超音波検査(腹部・甲状腺・頸動脈)・腫瘍マーカー・胃カメラ・大腸ファイバー等)をご希望の方は、ほとんどが保険で可能ですのでご検討ください。(要予約)

「**ピロリ菌検査**」は胃がんの発見には重要な検査ですが、**胃カメラを受けられる場合に限り、保険で検査可能です。保険外で検査をした場合は、ピロリ菌が陽性だった場合に行う「除菌治療」も「除菌判定の検査」も保険外ですのでご了解ください。**

肝炎ウイルス検診

B型肝炎ウイルスおよびC型肝炎ウイルスの検査です。**肝炎ウイルスの感染が、肝臓がん(肝細胞がん)の原因の大部分を占めます**ので、大切な検査です。

20歳以上の方が、一度だけ受けることができます。無料です。受診券はありません。

肝炎の検査を一度も受けたことのない方は、ぜひお受け下さい。

私は、大阪府の研修を受けて「肝炎医療コーディネーター」に認定されていますので、肝臓についてはご相談ください。

B型肝炎訴訟について

昭和23年7月1日から昭和63年1月27日の間に受けた「集団予防接種」によってB型肝炎に感染した方(一次感染者)、および一次感染者の母親から感染した二次感染者が対象です。

手続きが大変ですので、専門家に依頼する必要があります。待合室に法律事務所のパンフレットをおいていますので、ご覧ください。(この法律事務所を推薦しているわけではありません)

大腸がん検診

大腸がんは、増えつつありますが、早期に発見をすれば、治療成績の高いがんのひとつです。40歳以上の八尾市民を対象に、検診を行っています。年1回無料です。受診券はありません。

方法は、便を2日分採って提出していただくだけです。2回分のうち1回でも陽性(血液が混じっている)であれば、精密検査の対象となります。精密検査は大腸内視鏡検査(大腸ファイバー)で、当院で行っています。

ただし、明らかな血便、便通異常(急に便秘あるいは下痢になった、便秘と下痢を繰り返す)、体重減少がある場合は、検診を飛ばして、大腸ファイバーを受けることをお勧めします。

前回は「頸椎椎間板ヘルニア」の話をしてきましたが、おわかりいただけましたか。2つ目の病気の話はもっと難しいですが、我慢してください。いや、読み飛ばしていただいても結構です。

この病気に関して、自覚症状はまったくありません。たまたま血液検査をしたところ「膵臓」の数値が高かったのです。（一部の項目は、正常上限の10倍以上）

そこで「超音波検査（エコー）」を自分でしました。（左）肝臓の裏側（背中側）の赤線で囲っている部分が「膵臓」です。膵臓の中を「膵管」という管が通っています。正常であれば、管の太さは3ミリ以下です。

この写真では、膵管の一番太い部分が約8ミリありました。また蛇行（くねくね）しています。そして膵管の一番下流（管の左端）が細くなっています。この写真で、一番疑われるのは膵臓がん（膵頭部がん）です。

（左）数年前に自分でしたエコーです。この時は膵管は約2ミリと正常の太さで、まっすぐです。（このときは、肝臓は白くて脂肪肝です）

（右）大坂城のよく見える病院に入院して精密検査を受けました。



（左）CT

オレンジ色の線で囲った部分が膵臓の一部（膵頭部）

です。中に白い部分がありますが、これが石灰化（カルシウムの塊）いわゆる石です。

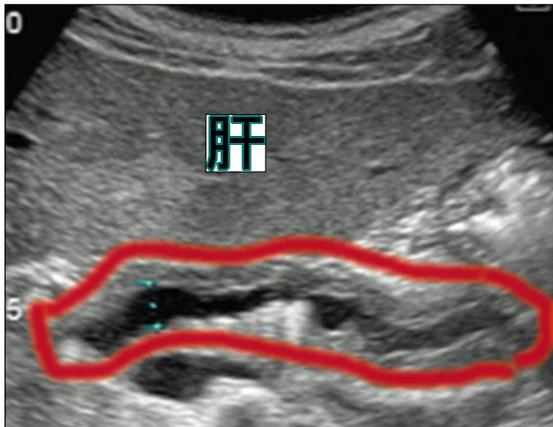
膵臓の左側の水色の線で囲った部分は十二指腸です。

（左）MRCP（MRIによる胆管・膵管造影）

胆管はきれいですが、膵管は太い上に、太さが一定ではなく、蛇行しています。

また「超音波内視鏡検査」も行い、膵管にカテーテル（管）を入れて「膵液」を採ってがん細胞の検査もしましたが、「膵臓がん」を示す所見はなく、診断は「膵石を伴う慢性膵炎」となりました。

通常、このような慢性膵炎は「大酒家」がなる病気です。中ジョッキ1杯が精一杯の私としては、問診のたびに「大酒飲み」を疑われて、大変不本意な思いをしました。（次ページに続く）



(前ページから続く)

診断はこれでしたので、これから治療になりますが、最初に書きましたように、実は自覚症状は全然ないのです。

私が後期高齢者だったら、治療せずに放置するという選択肢をとるかもしれません。しかし、膵臓の数値がまだ高いので、肝臓なら慢性肝炎から肝硬変になるように、膵臓の機能が低下しては困りますので、ここは思い切って休みをいただいて治療しようと思いました。

現在のところの治療の予定は、結石が出やすいように膵管の出口(十二指腸)を内視鏡を使って切開したうえで、ESWL(体外衝撃波碎石術)を行うことになっています。

長期の休診でご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

今回は、診察予約の調整を、2か月前から始めていますので、ご協力をお願いいたします。

政治家や医者や芸能人は「人気商売」ですので、調子の悪いことはなかなか正直には言いません。これだけ公表しても本当に信用していただいたかどうか、不安です。

それでも、休診にご協力をいただくために、正直に病状をお知らせしました。

くれぐれも誤った内容を他の方にお伝えにならないよう、お願いいたします。

「膵臓のややこしい病気らしい → 何? 「がん」か? → そうやったかもしれないあ → やっぱり「がん」か!、もう長くないな!」というようなやり取りが目に見えそうです。

ご質問があれば、遠慮なく私に直接お尋ねください。受付の者や看護師にお聞きになっても、正しい説明をするのは難しいと思います。

繰り返しますが、病名は「^{まんせいすいえん}慢性膵炎・^{すいせきしょう}膵石症」で、「がん」ではありません!

間違っても「^{ふうせつ}風説の^{るふ}流布」(デマ)にならないよう、お願い申し上げます。

なお、休診中は、仕事をする事ができません。(休業保障の問題です)

「いつもの薬くらい、出してくれたらいいのに!」と思われるかもしれませんが、それはできませんので、10月14日(火)までに解決していただけるようお願いいたします。

完全予約制です (072) 990-5820

自動ドアを開ける時刻は、下記の通りです
午前診: 午前8時 夕診: 午後4時45分
(多少前後します) ご協力をお願いいたします。

毎月初回受診時には、健康保険証・医療証等をご提示ください。マイナンバーカード(マイナ保険証)も受付しています。

お薬手帳・健診結果・紹介状などをお持ちの方は、診察前に受付へお出してください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前8時半~	胃カメラ・エコー						水曜日は、胃カメラ・エコー等の検査優先です。空きがある場合に限り一般の診察を行います。 × 夕診での採血は、看護師の勤務の都合で、曜日を指定させていただきます。 夕診は予約の患者さんが終わり次第、終了としますので、ご了承ください。
午前9~12	診察				診察		
午前診終了後	感染外来						
発熱外来終了後	胃カメラ・エコー 大腸ファイバー						
午後5~7	診察				診察		
夕診終了後	感染外来		×		感染外来	×	